

業務仕様書

1 事業概要

(1) 業務名

須賀川市公式ウェブサイトCMSサービス利用及びシステム運用保守業務

(2) 目的

現在利用しているウェブコンテンツ管理システム（以下「CMS」という。）は、令和8年3月31日をもって利用期間が満了することから、市ウェブサイト及びCMSを更新し、情報発信の充実強化及び内部事務の効率化を図る。

(3) 基本方針

市公式ウェブサイトとして、信頼のおける情報を今後も継続して、的確かつ効果的に発信するため、次の方針により、システムを更新したい。

ア スマホファースト

スマートフォンで見やすいサイトをメインに構築すること。パソコン用のサイトは、補完的なものとして、よりじっくり見たい人向けのものとして整備すること。

イ ユーザビリティへの対応

ウェブサイト閲覧者が目的の情報に快適にたどり着け、トップページと主要ページとの構成及び導線が鮮明であること。

ウ アクセシビリティへの対応

高齢者、障がい者、外国人等が支障なく利用できること。アクセシビリティ基準（最新のJIS基準）に準拠していること。

エ 災害発生等の緊急時対応

災害発生などの緊急時にも迅速に情報を提供できること。

オ 容易な情報発信

専門知識がなくても、職員がアクセシビリティに配慮されたページを作成できること。

カ 拡張性の確保及び柔軟性の高い保守運用対応

運用開始後も、CMSの機能向上、ウェブサイトの構造及びデザインの変更に柔軟に対応し、将来的なシステムの拡張性を考慮すること。

(4) 業務概要

主な業務項目は、次のとおりとする。

ア コンサルティング（ウェブサイトの構造及び運用設計並びにデザイン制作）

- イ CMSの導入、構築及び設定
- ウ ウェブサイト運用の環境整備（データセンターを利用したASP）
- エ データ移行（アクセシビリティ対応含む）
- オ 操作研修
- カ 操作・運用マニュアルの提供
- キ 運用サポート、保守及び障害対応

（５）更新範囲

- ア 本業務の対象は、下記ドメインに含まれるウェブサイトとする。
<https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/>
更新後も、現在と同じものを使用すること。
- イ 下記のページは、サブサイトとして別デザイン、レイアウトで構築する。
（企業版を含むふるさと納税、ふくしまＤＣ、子育て支援サイトほか）
- ウ 英語、中国語及び韓国語の３か国語に対応した自動外国語翻訳ソフトを導入し、スマートフォン、タブレット端末等にも対応する。

（６）スケジュール

市が予定しているスケジュールの概要は、次のとおりである。
なお、詳細スケジュールは、受託者と協議のうえ、決定する。

- ア 研修期間 令和8年2月上旬
- イ 本稼働 令和8年4月1日

（７）更新後の業務フロー

各課の作成者がCMSでページ作成、公開予定日時を登録し承認依頼を行う。

１次承認 各課が定める承認者が承認を行う。承認されたページは、公開予定日時に掲載され、公開終了予定日時に自動的に外部から非公開となる。

２ サイト構築コンサルティング・設計

- （１）現状のウェブサイトから移行漏れのないように分析し、移行対象リストを作成すること。
- （２）現状ウェブサイトの問題点、改善点、不足点等を洗い出し、それらの内容を分析、整理し、解決策に考慮した設計を行うこと。
- （３）分析、整理の結果、データの取捨選択及び不足ページの補完をしながら構築すること。

３ ウェブサイトデザイン

(1) トップページデザイン

ウェブサイト更新の目的、基本方針等を勘案し、市のイメージ及び認知度の向上を図ることができる、訴求力のあるトップページデザインを提案すること。

(2) 下層ページデザイン

提案したトップページに合わせて、カテゴリページ、コンテンツページ、イベントページ、地図ページ、その他サイト構成上必要なページをデザインすること。

(3) 関連サイトデザイン

提案したトップページに合わせて、スマートフォン用サイト、携帯電話用サイト、災害時用サイト、その他各種関連サイトをデザインすること。

(4) テンプレート

サイトのデザインに合わせて、コンテンツ作成、編集等を行うためのテンプレートを業務用途に応じて複数作成すること。

4 機能要件

(1) CMS

ア 開発ベンダによるサポートが確立された製品であること。オープンソースの使用は認めない。

イ CMSに求める機能は、「CMS機能要件一覧表（様式4）」のとおり。

ウ CMSを利用するために必要な一切の作業（ユーザー、組織情報、カテゴリ設定、テンプレート構築・設定等）を行うこと。

(2) システム要件

ア サーバ要件

(ア) ウェブサーバは、24時間365日の運用とする。

(イ) CMSサーバは24時間365日の運用を基本とした体制を整え、システムメンテナンスなどで計画停止をする場合は、事前に連絡の上、市の業務に支障が出ないよう作業する。

(ウ) サーバのスペックについて、アクセス件数、ソフトウェア、リニューアル後のコンテンツ容量の予測等を勘案し、構築すること。

(エ) 更新したコンテンツは、CMSサーバからウェブサーバにHTML等を定時、又は随時にアップロードされる仕組みとする。CMSサーバからウェブサーバへのデータ転送は、暗号化する等セキュリティに配慮すること。

(オ) 動的CMSを利用してHTMLを生成し、コンテンツのみ静的サーバにアップロードする仕組みは認めない。

イ ネットワーク要件

(ア) CMSサーバ及びウェブサーバは、市庁舎外のデータセンターに設置するこ

と。

(イ) 庁内端末からCMSサーバにインターネット経由でアクセスし、コンテンツを作成及び更新する。その間の通信は、暗号化通信等セキュリティを確保すること。

(ウ) 災害時等緊急の場合を除き、基本的にCMSへのアクセスについては、特定のグローバルIPアドレスのみを許可する等、第三者からのウェブサイトの改ざん等を防止し、安全性に考慮して運用できること。

(エ) 庁内端末以外からでも情報更新等ができる仕組みを考案し、その実現方法を提案すること。なお、セキュリティ面には、十分配慮すること。

(3) セキュリティ要件

ア 構築に当たっては、十分なセキュリティ対策を講じること。また、情報漏えい対策が十分に講じられていること。

イ 運用するサーバについては、ウイルス駆除ソフトを常に最新バージョンに維持して感染を防止すること。

ウ ソフトウェアは、セキュリティホール等に対する最新の対策を行った上で導入すること。

エ 問い合わせフォーム等は、SSL暗号通信に対応させること。なお、SSLの導入及び更新手続については費用に含み、受託者が責任を持って行うこと。

5 前提条件

(1) 現在のウェブサイト規模及び運用環境

ア ファイル数

HTMLファイル 約5,000ファイル

イ コンテンツ等のデータ容量

通常DB使用容量 約1.7GB

ログDB使用容量 約2.5GB

ウ ウェブサイトアクセス数

ページ別年間訪問数 約300万件（令和6年度）

エ 庁内端末環境

OS：Windows11以上

ブラウザ：Microsoft Edge、Google Chrome

（運用保守期間中に庁内端末において、より高いバージョンのブラウザを利用することになった場合は、無償対応とすること。）

オ 更新後の条件

CMS利用者数

管理者（約10ユーザ）

承認者（約70ユーザ）

作成者（約70ユーザ）

6 ウェブアクセシビリティ

（1）ウェブアクセシビリティ方針

JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針－情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス－第3部：ウェブコンテンツ」を参考に、アクセシビリティ方針を作成すること。また、JIS規格が改正された際には、速やかに修正対応を行うこと。

（2）目標とする達成等級

JIS X 8341-3:2016レベルAAに準拠とし、対象範囲は更新後のウェブサイトで公開する全てのコンテンツとする。ただし、JIS規格が改正された場合にはそちらに準拠する。またブラウザの拡張機能（プラグイン等）を必要とするコンテンツ（PDFファイル、動画ファイル等）は対象外とする。

（3）試験の実施

ウェブアクセシビリティ基盤委員会の示す「JIS X 8341-3:2016試験実施ガイドライン」に基づく試験を実施、適用する達成基準の要件を満たすことを確認すること。JIS規格が改正された場合には、そちらに準拠する。

7 データ移行要件

トップページのように新規に構築するコンテンツ、カテゴリページやサイトマップのようにCMSで自動的に作成されるコンテンツを除き、更新範囲のコンテンツは、原則として受託者が移行すること。移行の際には、全てのページがウェブアクセシビリティJIS規格の要件を満たした形で移行させる（移行コンテンツは5,000ページを想定）。また、移行作業中に更新された差分コンテンツの移行方法及び新旧ホームページ切り替え作業方法について、どのように作業するか提案書に明示すること。

8 システムテスト

更新後のホームページが正常に稼働するか、ブラウザ表示テスト等のシステムテストを行うこと。

9 操作研修

利用者及び管理者が業務を行う上で必要な研修を実施すること。

（1）利用者向け研修

対象人数 約120人 パソコンを使用し、実際の操作を想定した研修を行うこと。

(2) 管理者向け研修

対象人数 約10人

(3) 研修環境

研修会場、プロジェクター、スクリーン、研修用パソコン、インターネット接続環境等は、市が準備する。研修資料は、受託者が準備すること。

10 システム保守・運用要件

令和8年4月1日から令和13年3月31日において、以下のとおり対応すること。

(1) システム運用

ア バックアップ

システムに障害が発生した場合のために必要なバックアップを行うこと。

イ システム監視

システムに障害が発生した場合、迅速に検知するためにシステム監視を行うこと。

ウ ログの管理

ログの管理を行うこと。

(2) システム保守

ア 障害対応

システム障害が発生した際に障害の原因究明を行い、障害対応を行うこと。

イ 脆弱性対策

サーバソフトウェアの脆弱性情報を継続的に入手し、脆弱性への対応を行うこと。

ウ バージョンアップ対応

システムの機能追加、機能改善及び不具合修正を継続的にを行い、バージョンアップ対応を行うこと。

エ 問い合わせ対応

緊急性が高いものを除き、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く午前8時30分～午後5時15分を希望するが、対応可能時間を提案書に記載すること。
また、CMSの操作方法、運用上の質疑等の問い合わせに対して、一元的に対応すること。

11 納品物

契約期間内に次の書類をCD-R等に1枚にまとめて保存の上、提出すること。印刷物と書かれたものは、紙に印刷して1部納品すること。

(1) プロジェクト計画書

(2) ウェブサイト構成設計書

- (3) デザイン設計書
- (4) アクセシビリティ試験結果
- (5) 利用者向けマニュアル（印刷物）
- (6) 管理者向けマニュアル（印刷物）
- (7) 研修用マニュアル
- (8) 運用マニュアル（印刷物）
- (9) アクセシビリティガイド作成対応

12 その他

(1) 権利帰属

受託者から市に引き渡された成果物の所有権、著作権、その他当該成果物を利用するために必要な一切の権利は、当該引渡しの時点をもって全て市に帰属する。

受託者は、前項の成果物につき、市に対し、著作権人格権を行使しないものとする。

(2) 秘密情報保持

受託者は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

設計用参考資料

初期構築費	
1 サイト設計、構築に係る費用	
打ち合せ	
プロジェクト管理	
要件整理、サイト設計費	現状サイト調査・分析、情報分類の見直し
サイトデザイン、コーディング費	
テンプレート設計、開発費	
CMS初期設定及びサイト基本データ登録費	
外部サービス設定作業	Googleアナリティクス、Googleカスタム検索、SNS連携（各種SNSボタンの表示、更新情報の自動投稿）、各種ASPサービス初期設定
アクセシビリティ達成試験	「JIS X 8341-3:2016 試験ガイドライン」に基づく試験（最新の規格に準ずる）
総合テスト	
2 ソフトウェアに係る費用	
CMSパッケージ費用	各社オリジナルCMS
イベントカレンダー／イベント検索	Googleカスタム検索
地図システム（施設案内）	Googleマップを想定
お問い合わせフォームCGI	各課への問い合わせ、意見・要望等の聴取
外部リンクチェッカー	
アンケートシステム	イベント、アンケートフォームを自由に作成可
3 サーバ環境設定に係る費用	
CMSサーバ構築	IDC
WWWサーバ構築	IDC
CMS環境設定費用	
ウイルス対策ソフト	
運用ガイドライン＋システム関連納品物	
4 データ移行に係る費用	
データ移行計画、環境構築	
データ移行費	5,000ページを想定
データ移行費（差分）	500ページを想定

運用保守費	
CMS保守費用	
データセンター使用料	クラウドホスティング（CMSサーバ、WEBサーバ）
遠隔地バックアップ	遠隔地バックアップ
サーバ証明書利用料	SSL（CMS用、WEB用）＋設定費
CMSサポート費	パッケージ保守
CMS操作研修費	5年間 利用者向け（1回/年）管理者向け（導入前1回のみ）
CMSバージョンアップ費	
ヘルプデスク費	システム管理部門からの受付
制作支援費	簡易的なテンプレート修正及び作成（年6回を想定）
SE支援費	
自動翻訳ASPサービス	高電社「Myサイト翻訳」3ヶ国語（英語、中国語（簡体、繁体）、韓国語
自動読上げASPサービス	対象外（不要）
CDNサービス	